

科目名	心理学特殊研究			ナンバリング	858240	授業形態	0
対象学年	1 年	開講時期	後期	科目分類	選択	単位数	2 単位
代表教員	大島典子○	担当教員	大原貴弘 末次晃 高島翠 名取洋典				

授業の概要	修士論文作成に向けて心理学の研究法をより深く理解する。とくに、質問紙調査の作成方法、実施方法、データの整理および分析、そして結果からいかに考察するか の諸点について、演習形式で体系的に実践的知識を身につけることを重視する。それとともに、研究を希望しているテーマに関する見識を深めることを目標とする。						
到達目標	1. 妥当性・信頼性のある質問紙作成と調査実施ができる。 2. 適切なデータの整理・分析ができる。 3. 調査結果に対して適切な考察ができる。						
学習のアドバイス (勉強方法、履修に必要な予備知識など)	心理学の研究法(観察法・面接法・実験法・質問紙法)について基礎的な知識を有することが望ましい。操作方法が身につくように、授業内で紹介された分析方法を授業時間外でも自ら行ってみることが必要である。「方法」に着目して、研究を希望するテーマに関する研究論文をまとめる作業をくりかえすことを勧める。						
ディプロマポリシーとの関連	【人文学研究科 臨床心理専攻(修士課程)のディプロマポリシー】						
		1. 人間におけるさまざまな物事や問題を、臨床心理学の方法論を用いて探求し研究できる。					
	○	2. 臨床心理学の知識を深めるとともに、心理学全般にわたる幅広い教養を持ち、臨床的な枠組みを用いて、実践的に研究することができる。					
		3. 心理臨床の場面に対応しうるコミュニケーション能力を持ち、状況に応じたふさわしい自己表現ができる。					
	○	4. 自ら問いを立て、それに答えていく研究能力を持ち、積極的に活動できる。					
	○	5. 各自の研究成果を、修士学位論文にまとめ上げることができる。					

標準的な到達レベル(合格ライン)の目安	理想的な到達レベルの目安
1. 先行研究の方法に倣って、調査を実施することができる 2. 先行研究の方法に倣って、分析を行うことができる 3. 分析した結果に従って考察することができる 4. 得られた成果について発表することができる	1. 先行研究の方法を参考に、質問項目を吟味したうえで、調査を実施することができる 2. 先行研究の方法を参考に分析を行い、かつ、自ら必要な分析を加えることができる 3. 分析した結果に従って、他の先行研究の知見も引用しながら、適切に考察することができる 4. 得られた成果について、プレゼンテーションソフトを効果的に使って発表することができる

成績評価観点 評価方法	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合
定期試験(中間・期末試験)							
小テスト・授業内レポート							
宿題・授業外レポート				○	○		80%
授業態度・授業への参加	○	○	○	○			20%

課題、評価のフィードバック	質問紙作成と調査の実施、データの整理・分析・考察のそれぞれの過程において適宜コメントをする。
---------------	--

	回次	テーマ	授業内容	備考
授業計画	第1回	オリエンテーション	授業の進め方、担当者分担および内容など授業の概要を説明する	
	第2回	心理学文献研究演習(1)	行研究の内容を、レジュメを使って口答で分かりやすく発表する方法について	
	第3回	心理学文献研究演習(2)	指定された論文の内容を、レジュメを使い口答で分かりやすく発表する方法について	
	第4回	心理学文献研究演習(3)	指定された論文の内容を、レジュメを使い口答で分かりやすく発表する方法について	
	第5回	アンケート調査の設計	指定されたテーマでの適切な質問紙の作成と、それを使った調査の実施について	
	第6回	データ分析法演習(1)	今後、統計解析にかけることを考慮しながら、アンケート調査の結果を適切に整理する方法と、記述統計について	
	第7回	データ分析法演習(2)	アンケート調査の結果の因子分析の方法について	
	第8回	データ分析法演習(3)	アンケート調査の結果の因子分析の方法について	
	第9回	データ分析法演習(4)	アンケート調査の結果の重回帰分析の方法について	
	第10回	データ分析法演習(5)	アンケート調査の結果の重回帰分析の方法について	
	第11回	データ分析法演習(6)	アンケート調査の結果の分散分析の方法について	
	第12回	心理学研究演習(1)	実施した調査結果について考察し、それをスライドを使って発表する方法について	
	第13回	心理学研究演習(2)	実施した調査結果について考察し、それをスライドを使って発表する方法について	
	第14回	心理学研究演習(3)	実施した調査結果について考察し、それをスライドを使って発表する方法について	
	第15回	心理学研究演習(4)	実施した調査結果について考察し、それをスライドを使って発表する方法について	
	試験	期末定期試験は実施しない。		
授業の進め方		演習形式で行う。各自、事前に準備を行い、授業内の課題に取り組み、事後の振り返りを行うことを求める。		
授業外学習の指示		データ分析演習については、統計学の基礎的な知識をあらかじめ確認して授業に臨むこと(120分)。また、演習形式では、レジュメ・スライド、口頭発表原稿などの作成、リハーサルまで120分以上かけて準備すること。 (授業外学習時間： 毎週 120 分)		

教科書	使用しない。
参考書	使用しない。
参考URLなど	
その他	